



天然染料で染められた新ハイブリッド合繊素材の開発と販売について 自然を染める『Nカラー・ビンテージ』の誕生

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：池田哲夫）は、これまで合繊には染まらないとされていた天然色素の染着を可能にする染色技術を確認し、3月より

『Nカラー・ビンテージ』として上市致します。これは、独自の合繊素材に対する改質加工技術により可能となったもので、化学染料と有機的に融合させて染着する画期的な技術開発であり、新ハイブリッド合繊素材であります。

開発の経緯

当社は染色加工メーカーとして、予てより染料やカラーについての深堀の余地がまだまだあると着眼しており、天然染料の持つ独自の良さや効能を合繊で表現することが出来ないか挑戦して参りました。また、現代のライフスタイルは自然とテクノロジーの共存融合であり、温故知新の思想が背景のひとつになっております。この度の当社の開発は、自然の“生きている色”と化学染料をハイブリッド化し、これまでの合繊の染色加工の概念を根本的に覆したものです。自然で柔らかい波長を持ちつつ、経年的に味わい深くなる表現を追及した改質加工技術（ソフトコンブ化）の確立で、合繊に天然色素の染着を可能にした新素材であります。

N（エヌ）カラー・ビンテージの素材特長

1. 天然色素を合繊に染着したナチュラルな表現で、且つ心地良い柔らかな“ゆらぎ”が特長のフアブリックです。
2. 従来の天然色素染の限界を超えた実用性のある堅牢度を持ち、且つ経年的に味わい深く変化する色相です。（耐光堅牢度3級、汗堅牢度3級レベル）
3. また、加工時における排出液等は、合繊の染色技術と異なり、環境や生態系に優しいものとなります。
4. 当社の『ビンテージ織意』等、差別化素材との融合によりバリエーションを拡大することが可能です。

●特許出願

- ・関連特許：1件申請済

●展開用途

- ・ファッション衣料
- ・スポーツ衣料
- ・インテリア、メディカル関連 その他

●販売計画

- ・初年度 10万m 1億円
- ・3年後 50万m 4億円



天然色素の例：クチナシの実